

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1番10号 住友精密工業(株) 本社内
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

第31回政策委員会開催される

第31回政策委員会を2019年12月20日(金)16:00~17:00に開催し、2020年度の事業計画と収支予算(案)等について審議しました。初めに石川会長の挨拶があり、その後、事務局から以下の2020年度の事業計画(案)について説明し、審議の結果、昨年度に引き続き、以下の柱に、委員会や部会・分科会活動を中心に事業を立案し実施することで、了承を得ました。

- ① 「会員のための工業会」として、最新の国際情勢、技術動向等会員の求める情報の収集・発信をHPや講演会などを通じて行うこと
- ② フルードパワーの技術基盤をより充実させて

いくために、産学連携した積極的な標準化活動、若手技術者の育成や部会活動範囲の拡大などを検討し実施していくこと

- ③ より広くより深くフルードパワーの業界・企業を広報するために、IFPEX2021の成功に向けて企画等を行うこと

II. 2020年度の事業計画の概要

1. 需要対策事業

フルードパワー産業の市場動向を把握する

目 次

ISSN. 1345-2371

第31回政策委員会の開催	1	技術調査事業	7
委員会開催・活動状況		広報PR対策事業	8
国際交流事業	5	会員ニュース	8
標準化事業/ISO対策事業	6	今後の主要行事予定	8
標準化事業/規格事業	7	統計資料	12

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

ため、建設機械業界や半導体製造装置業界等ユーザ業界の設備投資、自動化・省力化投資動向等についてマイクロ・マクロ両面から調査・分析し成果を公表する。また、フルードパワーの受注・生産・出荷動向等の定期配信の迅速化に努める。そのため、以下の事業を実施する。

- ① 総需要委員会において、2020年・年度及び2023年・年度の油空圧機器の需要見通しを作成するとともに、必要に応じて2020年・年度の見直し作業を行い関係者に資料配布する。
- ② フルードパワー機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出等市場動向に関する調査を実施し、関係者に配布する。
- ③ 需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に配布するとともに、必要に応じて関連団体の関係者を招いて意見交換する。
- ④ その他需要対策に必要な事業を実施する。

2. 国際交流事業

米国中国間の追加関税等に始まる貿易戦争による世界市場への動向、先の見えない英国のEU離脱問題や中東での紛争によるエネルギー問題など、それぞれの国・地域動向の把握と分析がより重要となっている。これら諸課題に対応するため、「国際委員会」活動を中心として以下の事業を実施する。

- ① 海外のフルードパワー産業に関する情報を収集するため、国際会議等に積極的に参加するとともに、視察団の派遣及び海外見本市への共同出展の検討を行い必要に応じて実施する。
 - イ) 2021年4月のハノーバーメッセ開催に併せ欧州視察団を派遣するべく、企画し募集する。
 - ロ) 中国、米国、欧州等海外動向に関する情報収集と分析を行い、必要に応じて講演会の開催を検討する。
 - ハ) 国際サミット・国際統計委員会に参加し、その結果を会員に提供する。
- ② Fluid Power Industry in Japan 2020年版(隔年)を発刊する。

- ③ 新興諸国の市場動向等について情報収集や海外市場に係わる統計データ類を整備するとともに各国の関連団体との交流を推進する。
- ④ 会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理や公正貿易ルール等について、経済産業省、JETRO等と連携して情報や資料の収集を行い迅速に提供する。また、必要に応じて講演会を開催する。
- ⑤ その他、国際交流に必要な事業を実施する。

3. 標準化事業

関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化に貢献するため、大学関係有識者の協力を得て、ISOやJIS、団体規格の新たな制定・改廃等以下の事業を実施する。また、(株)野村総合研究所：NRIからの受託事業である省エネ型水圧システムに関する国際標準化推進事業を引き続き実施するとともに、次年度以降の後継事業について検討し、これを経済産業省に要求していく。

1) ISO対策事業

- ① ISO規格について検討し、必要に応じて制定・改正若しくは廃止するとともに、我が国提案のISO規格化の推進を図る。
 - イ) ISO中央事務局から配信される各規格開発の審議案件に関して、該当する国内対策分科会にて審議を行い、日本意見として答申する。(JKA補助事業)
 - ロ) ISO 20145/AMD(サイレンサの排気騒音レベルの測定方法)の規格原案作成における日本案盛り込みを推進する。(JKA補助事業)
 - ハ) 空気圧システムのエネルギー評価に関する新規規格制定における日本案盛り込みを推進する。(JKA補助事業)
 - ニ) 省エネ型水圧システムに関する国際標準化推進事業を推進する。(NRI受託事業 3年計画の3年目)
- ② ISO国際会議へ積極的に参加をする。
 - イ) ISO/TC131関連の国際会議への委員派遣(2020.5:韓国・ソウル,

- 2020.10：フランス・パリ）（JKA 補助事業）
- ロ）ISO/TC118/SC3 及び SC4 の国際会議への委員派遣。（JKA 補助事業）
- ハ）ISO/TC131/SC8/WG14 の国際会議への委員派遣（2020.5：韓国・ソウル，2020.10：フランス・パリ）（NRI 受託事業）
- ③ ISO/TC131/SC7（密封装置）の幹事国業務（委員会メンバー各国との連絡・会議運営・規格開発の進捗管理等）を遂行する。（MRI 補助事業）
- ④ ISO/TC131/SC8/WG14（水圧ポンプの試験方法）の幹事国業務（委員会メンバー各国との連絡・会議運営・上位 SC との連携等）を遂行する。（NRI 受託事業）
- ⑤ 2021年5月に予定されている ISO/TC131 国際会議の日本開催に関して、準備を進める。
- 2) 規格事業
- 日本産業規格（JIS）、日本フルードパワー工業会規格（JFPS）について審議し、必要に応じ制定・改正、若しくは廃止する。
- ① 日本産業規格（JIS）
- （新規） 8 件
- イ）JIS B8356-2 油圧用フィルタ性能評価方法—第2部：フィルタエレメントの組立完全性試験及びファーストバブルポイントの測定（2020.4 開始予定）
- ロ）「ISO 1219-3:2016, Fluid power systems and components — Graphical symbols and circuit diagrams — Part 3: Symbol modules and connected symbols in circuit diagrams」の JIS 化（2020.8 開始予定）
- ハ）JIS B8381-1 空気圧用継手—第1部：熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手（2020.8 開始予定）
- ニ）JIS B8381-2 空気圧用継手—第2部：熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手（2020.8 開始予定）
- ホ）JIS B8672-1 空気圧—試験による機器の信頼性評価—第1部：通則（2020.12 開始予定）
- ヘ）JIS B8672-2 空気圧—試験による機器の信頼性評価—第2部：方向制御弁（2020.12 開始予定）
- ト）JIS B8672-3 空気圧—試験による機器の信頼性評価—第3部：減圧弁（2020.12 開始予定）
- チ）JIS B8392-3 空気圧—圧縮空気—第2部：オイルミストの試験方法（2020.12 開始予定）
- ② 日本フルードパワー工業会規格（JFPS）
- （継続） 2 件
- イ）JFPS 1003 油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針（改正）
- ロ）JFPS 2027 空気圧機器の制御に関する用語（制定）
4. 技術調査事業
- フルードパワー産業及び関連産業技術の高度化・合理化・省エネ化等に資するために、フルードパワーシステム学会とも連携し、新技術情報や新製品情報を収集し提供を行う。そのために、油圧部会、空気圧部会並びに水圧部会で以下の事業を実施する。また、昨年技術企画委員会にて議論された IoT 化、電動化、ハイブリッド化等への課題等について、部会とは別に専門の委員を集めた研究会等の実施を検討する。
- 1) 油圧部会及び空気圧部会
- ① 実用油圧ポケットブック及び実用空気圧ポケットブックの改訂作業を完了し、2020 年内に発行する。
- ② ユーザ業界の最新の技術動向、及び関連産業界全体の IoT、AI、スマート化、ディープラーニング、設備予知保全等のトレンドを把握するための技術講演会を年2回実施すると共に、機関誌の記事として掲載し広く会員企業に伝える。
- ③ 若手技術者のスキルアップとコミュニケーション能力の向上のため、若手技術者懇談会（油圧部門、空気圧部門）を継続して開催する。懇談会は、年間2回（①講演会、②工場見学会）として各部門単独または合同で実施し、それぞれ聴講、見学後にグループ討議と発表の場を設け、一層の活性化を図る。

- ④ RoHS2 規制、REACH 規制による六価クロム、鉛フリーはんだ等のグリーン調達、及びこれらの規制と CE マークとの関連、さらに HACCP の義務化対応等、フルードパワーに関する安全規格に関する情報収集と提供を迅速に行う。
- ⑤ 中央職業能力開発協会からの要請に応じて、油空圧機器部門の中央技能検定委員（特級・1級・2級）の推薦、及び必要に応じて会員企業への情報提供を行う。
- ⑥ その他、油空圧技術に関する諸問題に対応する。

2) 水圧部会

- ① ADS の更なる普及促進を図るため、PR（広報）グループにて HP 及びブログの運用を拡充強化する。また、MR（市場調査）グループでは、ADS 需要分野として期待される各種見本市への調査を継続して行うと共に、IFPEX2017 水圧テーマコーナーの成果をまとめた「ADS 市場マップ」最新版を基に市場への進出を図る。
- ② ADS の国際標準化原案を検討する「水圧システム分科会」活動に協力するとともに、その成果や「ADS 機器技術仕様調査委員会」でまとめた ADS サプライヤーの製造・販売・取扱い機種、性能等詳細仕様の調査結果等を、部会活動に展開する。
- ③ 内外の水圧技術（知的財産権問題も含む）の動向や情報収集等を行うとともに、必要に応じて国際会議への参加を検討する。
- ④ その他水圧技術に関する諸問題に対応する。

5. 広報・PR 事業

電子メールや HP 等を活用し、会員企業に適切な情報を迅速に提供する他、工業会の活動状況等について会員企業はもとよりマスコミ・シンクタンク・金融機関等にも広く提供し、工業会活動の「見える化」を一層進める。

- ① 機関誌「フルードパワー」（季刊）を発刊して会員企業はもとより関係機関等にも広く配布すると共に HP に掲載し、広報・PR に努める。特に、産業界の動向に沿った特集記事や技術講座、JFPA 事業報告の企画をはじめ、「次世代フルードパワー！ 活躍する若手」、「会員企業の窓」、「ミニ知識」等の

記事を充実させ、広くフルードパワーの魅力を伝える。また、工業系大学・一般図書館・大学研究室など配布先の拡充も継続する。

- ② 工業高校・高等専門学校・大学等における教育資料、副教材等への活用として、「フルードパワーの世界」デジタルブック版の普及を図る。
- ③ 「月報フルードパワー」を、会員企業はもとより関係機関等に電子配信するとともに HP に掲載し広く広報に努める。
- ④ HP の内容をタイムリーに更新し、会員及び学会・関連関係者への情報開示を積極的に進める。
- ⑤ その他広報・PR 活動に関する事業を推進し、当会が開催する講演会や技術講座、出版物等について積極的な広報・PR 活動を行う。また、「工業会案内」パンフレットを更新する。

6. 中小企業関連事業

中小企業を取り巻く経営環境は、内外経済動向の変化、労働力不足、同一労働同一賃金に代表される働き方改革の実施など、大きく変化してきている。そのため、経営体質の強化は喫緊の課題であり、国の労働政策、中小企業施策等々関連情報の収集とその活用は重要である。これに対応するため、中小企業委員会と中小企業 WG、次世代経営を考える会等の活動を中心として、以下の事業を実施する。

- ① 需要業界や中小企業施策等の動向について経済産業省等と連携して迅速に情報を収集し提供し、必要に応じて視察等を行う。
- ② 中小企業 WG では、委員会の円滑な運営を図るための企画調整を行うとともに、中小企業特有の共通した課題を抽出し、解決策について検討し、これを委員会合同で議論し必要に応じて研修・視察を行う。
- ③ 次世代経営を考える会では、企業経営問題等について研究・意見交換を行う。
- ④ 中小企業を支える福利厚生事業の「共済保険（生命・傷害）制度」の参加企業の拡充を図る。
- ⑤ 消費税転嫁対策特別措置法に基づく対策を引き続き実施する。

- ⑥ その他中小企業の振興に必要な事業を実施する。

7. 振興対策・PL・その他事業

激変する経済環境に的確に対応するため、需要業界の動向やPL等について情報交換を行う。また、年始会・総会・支部総会等を通じ、学会等業界関係者との交流を深め、業界の振興・発展を図る。

1) 振興対策事業

- ① 2021年9月開催予定のIFPEXの成功に向けて、「IFPEX2021実行委員会」を設置し、事前準備に当たる。
- ② 国内及び世界の市場動向の把握のため、産機・建機部会、シリンダ部会、空気圧本部会を開催し、今後の市場をけん引していくとみられているインドや東南アジアの市場動向に関する情報収集を行うとともに必要に応じ海外見本市の視察や工場視察を実施する。
- ③ 第30回JIMTOF2020(2020年12月7日(月)～12月12日(土)の6日間)の開催に併せ、展示会場内に当会ブースを開設し、会員に対し便宜供与を行う。
- ④ 地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会を適宜開催するとともに、必要に応じ本部委員も出席して意見交換を行う。
- ⑤ その他振興対策に必要な事業を実施する。

2) PL対策事業(リスク対策事業)

国内CGL(国内PL・作業・業務遂行・施設
のリスク:COMPREHENSIVE GENERAL
LIABILITY)、及び海外PLからなる団体総合保
険制度の健全な運営を図るとともに、企業リス
ク等に関する情報収集を行う。

- ① 本保険制度の基盤を強化するため、ワールドインシュアランスグループ等と連携して参加会員企業の拡大を図るためPR活動を引き続き実施する。
- ② 国内外地域を対象とした製造業者E&O(経済損失カバー)保険制度については、引き続き関係者と連携して加入を進めていく。
- ③ 国内PL情報や海外PL情報及び様々な企業リスクを迅速に収集し会員企業に提供する。

イ) ケーススタディを中心としたPL・企業
リスク対策等の講演会を開催する。

ロ) リスク、PL関連情報を随時電子配信す
る。

3) その他事業

- ① 新入社員、若手社員等を対象としたフルードパワー研修事業(技能士受験対策講座、基礎(初級)講座)を継続実施する。更に、制御技術等要望の高い分野についても、その実施に向けてカリキュラム等を作成し検討を進める。
- ② 官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業等を行う。
- ③ 年始会や総会後の懇談会・西日本支部総会を開催する。
- ④ 西日本支部活動を支援する。
- ⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施する。

III. 予算策定時の会員状況

2020年3月31日現在の会員数は、正会員61社、賛助会員59社である。

次に上記事業を実施するため、事務局から2020年度収支予算(案)を説明しました。本事業計画及び収支予算(案)について審議を行い、次回理事会へ上程することが承認されました。以上で審議が終了し16:50に会議は終了しました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

国際講演会及び国際委員会

日時 12月16日(月) 15:00～17:00

場所 機械振興会館6D-4会議室

出席者 新開委員長以下12名

事務局 藤原、堀江

講演

新開委員長の挨拶に続き、経済産業省 通商政策局 欧州課 課長補佐 松田明恭様より「足下の海外情勢について:英国EU離脱の最新情報」、経済産業省 通商政策局 経済連携課 係長 山本歩様より「日

EUEPA の概要、利用率について」のテーマで講演会を開催した。

国際委員会 議事

事務局より、2019 年度事業の進捗状況と今後の予定及び 2020 年度事業計画(案)について審議を行った。2019 年度の進捗としては 2019 年 4 月のハノーバーメッセ視察団募集及びメッセ会場に於いて開催された国際サミット会議の状況及びこれらの報告会を 5 月に実施したことなど報告した。

続いて、今後の委員会の進め方について委員各社の意見を伺い、事前に各社共通のテーマを決めて必要により各社の専門家も交えて各社の対応状況など情報交換してはなどの意見が出された。

委員会終了後、懇親会を開催し更なる意見交換を行った。



講演会開催前の新開委員長挨拶

~~~~~  
標準化事業／ISO 対策事業  
~~~~~

油空圧シール分科会

日 時 12 月 4 日(水) 13 : 30 ~ 16 : 30

場 所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 南主査以下 12 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。ISO/DIS 7425-1、ISO/DIS 7425-2 は編集上の修正点があるが賛成で投票することとした。また、ISO 7986 の改正可否、及び ISO 6195 の CD ドラフト可否については、特に問題はなく賛成で投票することとした。

次いで、10 月に開催された ISO ミラノ会議について参加委員から報告があった。特に、日本から提案しているロータリシール材料に関する一覧表の審議

状況、トルコからの低温シールに関する提案等の報告があり、情報共有した。

次いで、高圧力技術協会主幹の JIS B 0116 (パッキン・ガスケット用語) の改正の進捗状況の報告があり、情報共有した。

次いで、JFPS 1003 (油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針) の改正について、本文及び解説の内容について審議した。本案にて審議は終了し、発行に移行することとした。

次いで、Rmr に関するデータ計測について、対象とする供試品の製作検討結果等の計画案について討議した。今後、さらに詰めていくこととした。

次回開催：2020 年 3 月 4 日、機会振興会館

油空圧シリンダ分科会

日 時 12 月 6 日(金)、13 : 30 ~ 16 : 30

場 所 機械振興会館 B3-9 会議室

出席者 渡部主査以下 6 名

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について審議した。ISO/SR 8132 については、寸法についての記載文面について技術的に間違っていると思われる箇所があるため、Revise/Amendment にて投票することとした。また、ISO/SR 8133 については、特に問題ないため Confirm にて投票することとした。

次いで、10 月に開催された ISO ミラノ会議について参加委員から報告があり、情報共有した。特に、ISO 10100 について日本の提案は受け入れられなかったが日本の主張については理解してもらえたとの報告があった。

次いで、JIS B8366-2 の見直しに関して、対応国際規格 (ISO 3322) 及び類似規格 (ISO 2944 及び JIS B8670) の内容を確認の上、改正内容を検討していくこととした。

次いで、ポケットブック改訂に関して、ポケットブック編集委員会の報告があり、当分科会担当分について改訂作業を実施した。

次回開催：2020 年 3 月 6 日、機械振興会館

* ISO の動き

発行された ISO 規格

ISO 10763:2019, Hydraulic fluid power - Plain-end, seamless and welded precision steel tubes - Dimensions and nominal working pressures

標準化事業／規格事業

JIS 原案作成本委員会

日時 12月10日(火) 13:30~16:30

場所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 香川委員長以下 9名

事務局 前畑

議事

北川委員長(東京工業大学名誉教授)開会挨拶、委員自己紹介の後、①JIS B 9933「油圧一作動油一固体微粒子に関する汚染度のコード表示」(フィルタ作動油分科会)、②JIS B 2356-2「油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手-エラストマシール又はエッジシールによるメートルねじポート及び継手端部-第2部:エラストマシール(タイプE)による継手端部」(継手ホース分科会)及び③JIS B 8670/Amd1「油圧・空気圧システム及び機器-呼び圧力(追補1)」(油圧システム分科会)の計3件のJIS原案について審議を行った。審議の結果、一部技術的な指摘があり担当分科会で再確認すると共に、各委員からの指摘事項について修正した後、2020年2月末までに日本規格協会へ提出することとした。

油空圧継手・ホース分科会

日時 12月12日(木) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 板井主査以下 7名

事務局 前畑

議事

委員の交代があり、板井主査(横浜ゴム)から石井委員に交代された。

前回議事録の確認後、10月に開催されたISOミラノ会議(TC131/SC4関係)に関して、各WGの議事録を確認し、情報共有した。

次いで、今月開催されたJIS原案作成本委員会の報告があり、審議案件であったJIS B 2356-2(対応国際規格:ISO 9974-2)の改正についての指摘事項を確認した。今後、修正作業を行い規格協会へ提出することとした。

次いで、ポケットブック改訂に関して、ポケットブック編集委員会の報告があり、当分科会担当分について改訂作業を実施した。

技術調査事業

技術委員会空気圧部会第566回特許分科会

日時 12月6日(金) 13:00~17:00

場所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 細田幹事以下 4名

事務局 吉田

議事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、1件については特許登録となっていることが確認され、調査検討することとした。新たな証拠資料の発見が難しいとの意見で一致し2件について調査を終了することとした。2件については引き続き調査を行うこととした。特許異議申立および無効審判・検討経過チェック表を確認した。

次回開催:1月24日(金) 機械振興会館 6-61

油圧ポケットブック編集委員会

日時 12月20日(金) 13:00~17:00

場所 機械振興会館 B3-9 会議室

出席者 北川委員長以下 7名

事務局 前畑、大橋

議事

前回の審議内容の確認と検討事項の報告が担当委員よりなされ、討議された。

次いで、今回の審議範囲について、討議がなされた。第3章:3.4その他機器では、エネルギー回収回路を追記することとした。第6章:メカトロニクスでは、電子回路に関する記載を更新することとした。第10章:10.1~10.2規格類では、作動油等級に関する記載を更新することとした。第10章:10.7~10.10関連法規~JFPS規格では、防爆関連を概要記載とすると共にJIS及びJFPSは最新年号版に更新することとした。空気混入時の作動油の体積弾性係数の扱いについては、各出典元の計算式の比較の報告があり、次回最終的に決定することとした。

次回開催:2020年2月6日、機械振興会館

技術委員会 水圧部会

日時 12月23日(月) 15:00~17:00

場所 機械振興会館 B3-9号会議室

出席者 宮川部会長以下 11名

事務局 大橋

最初に新委員の紹介を兼ねた自己紹介及び委員名簿の確認を行い、議事に入った。

1. 2020年度以降の水圧部会の進め方と体制

宮川部会長より、「現状と今後」と題する配布資料

に基づき、前回のコメントに続く首題の説明がなされた。また、今後の活動と指針、部会体制の刷新の提言がなされ、意見交換を行った。

今後、各委員はそれぞれの立場で市場への展開活動のあり方を検討し、次回委員会にて議論することとした。併せて、IFPEX2021の展示方法、販売統計資料の作成についても検討することとした。

2. 市場調査 (MR) グループ

田邊委員より、見本市調査報告として鉄道技術展の紹介があり、線路の夜間保守作業機械における油圧ホース破損と油漏れの問題が説明された。また、前回報告された展示会の視察情報シート集が配布された。

3. 広報 PR (PR) グループ

松村委員より、10月以降のブログ掲載状況が紹介された。また、世界の上水道の料金調査結果が披露され、水質に関する記事の掲載、ブログとしての閲覧のしやすさの改善、リンク切れの対応、古い記事の更新など、今後の活動項目の提案があった。

次回開催：2020年2～3月として調整する。

~~~~~

広報・PR 関連事業

~~~~~

第127回編集委員会 WG

日時 12月3日(火) 15:00～17:00

場所 機振会館 B3-8 会議室

出席者 宮主査以下9名

事務局 大橋

議事

1. VOL. 34, NO. 1 (新年号) 進捗

現状、順調に入稿しているが、巻頭言は月末となる見込み。挑戦・身近に加えて技術講座・ミニ知識の連載記事が復活した。前付広告が通常月より多く申し込みがあった。

2. VOL. 34 年間記事企画

3. 記事提案

ミニ特集記事として、①「HACCP 義務化と F.P.」のテーマで概説、空気圧システム、除菌フィルタなどを春号、②「オリンピック (またはスポーツ) と F.P.」のテーマで筋力トレーニング機器、チェアスキー、人口カヌー競技場の水流施設などを夏号、③「予知保全・プロアクティブメンテナンス」のテーマで概説、作動油の劣化診断と寿命予測、応用例、などの企画を検討し、継続して記事を集めることとした。

記事提案は新規に13件あり、上記ミニ特集記事及び技能五輪関連記事などをVOL. 34の春号以降の掲載として寄稿依頼することになった。

10月委員会での北川顧問の提案、5Gの解説記事については今後執筆候補を探すこととし、研究室訪問候補は2021年以降の検討対象にすることとした。

4. その他

機関誌送付先は、ルポルタージュ訪問先の研究室(東北大、福井大)を追加。

・第128回WG：3月11日(水)15時、機振会館 B3-7

~~~~~

会員ニュース

~~~~~

☆本社移転

2019年12月2日付にて、下記の賛助会員が本件事務所の移転をされました。

会社名：日本フィルトレーショングループ株式会社

代表者：坂本治久 代表取締役

所在地：〒160-0022

東京都新宿区1丁目23-6

グロイン新宿御苑204号室

新電話番号：03-5341-4484

新FAX番号：03-5341-4485

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

*2020年

☆1月15日(水) 第88回理事会

(時間) 13:30～14:50

(場所) 東京プリンスホテル「高砂」
年始会

(時間) 15:00～16:30

(場所) 東京プリンスホテル
「マгноリアホール」

☆3月30日(月) 第32回政策委員会

(時間) 16:00～17:00

(場所) 当会会議室

☆4月17日(金) 第89回理事会

(時間) 15:30～16:50

(場所) ザ・プリンスさくらタワー高輪
2F「コンファレンスN1-N4」
理事会懇親会

同 上 17:00～18:30
 2F「コンファレンス N5-N8」
 ☆5月21日(木)第21回定時総会
 (時 間) 15:30～16:50
 (場 所) 東京プリンスホテル
 「サンフラワーホール」
 総会後の懇親会
 (時 間) 17:00～18:30
 (場 所) 東京プリンスホテル芝公園
 「マグノリアホール」
 ☆5月22日(金)第59回JFPA懇親ゴルフ会
 (場 所) 程ヶ谷カントリー倶楽部

~~~~~  
 12月に開催された当会各委員会に出席された皆様  
 は以下の通りです。(敬称略)  
 ~~~~~

政策委員会

開催日 12月15日(金)
 出席者
 委員長 石川 孝 (TAIYO)
 委 員 中島康輔 (KYB)
 // 宮内壽一 (甲南電機)
 // 十萬幹雄 (神威産業) //
 // 田岡良夫 (住友精密工業)
 // 古川清二 (税理士法人ピランツ)

(国際交流事業)

国際講演会及び国際委員会

開催日 12月16日(月)
 出席者
 委員長 新開 諭 (甲南電機)
 委 員 河口 悟 (CKD)
 // 澤田啓支朗 (タイヨーインタナショナル)
 // 風間英朗 (日本アキュムレータ)
 // 安田正一 (経済産業省)
 // 渡部圭次 (経済産業省)
 代 理 曾我邦彦 (SMC)
 // 角張典昭 (イハラサイエンス)
 講演会参加者 栗原 司 (日本ムーグ)
 // 長谷川順子 (MORESCO)
 // 後藤美和 (MORESCO)
 // 飯塚 誠 (三輪精機)
 // 前原香織 (ハイダック)
 // 田村芳信 (ハイダック)
 // 宇野秀樹 (ハイダック)

// 昼間将司 (藤倉コンポジット)
 // 鈴木寛和 (藤倉コンポジット)
 // 木引満明 (日本建設機械工業会)
 // 角町昌之 (日本機械工業連合会)
 // 大久幸昭 (研削砥石工業会)

(標準化事業/ISO対策事業)

油空圧シール分科会

開催日 12月4日(水)
 出席者
 主 査 南暢 (バルカー)
 委 員 高牟礼辰雄 (J F P A)
 // 伊藤清明 (KYB)
 // 宮本博夫 (NOK)
 // 中尾雅司 (NOK)
 // 大関浩太郎 (SMC)
 // 寺島剛資 (エア・ウォーター・マツハ)
 // 曾谷崇 (甲南電機)
 // 但木郁夫 (荒井製作所)
 // 太田正貴 (阪上製作所)
 // 假屋隆広 (三菱電線工業)
 // 林明宏 (油研工業)

油空圧シリンダ分科会

開催日 12月6日(金)
 出席者
 主 査 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)
 委 員 根本慎一郎 (SMC)
 // 東川智信 (TAIYO)
 // 塩田浩司 (コガネイ)
 // 東中竜一 (豊和工業)
 // 鈴木一成 (妙徳)

(標準化事業/規格事業)

JIS原案作成本委員会

開催日 12月10日(火)
 出席者
 委員長 北川能 (東工大名誉教授)
 委 員 香川利春 (東工大名誉教授)
 // 上山大治郎 (日本規格協会)
 // 菊地治彦 (東芝機械)
 // 中野喜之 (パナソニック)
 // 難波竹己 (日本ポール)
 // 岩崎宏文 (イハラサイエンス)
 // 町田哲治 (東京計器)
 // 土岐一巳 (東京計器)

油空圧継手・ホース分科会
開催日 12月12日(木)
出席者
主査 板井淳一(横浜ゴム)
委員 岩崎宏文(イハラサイエンス)
〃 間口雄太(ニッタ)
〃 横岡慎吾(ブリヂストン)
〃 石井克昌(横浜ゴム)
〃 金城良(東京計器)
〃 辻田智(日東工器)

(技術調査事業)
技術委員会空気圧部会

第566回特許分科会
開催日 12月6日(金)
出席者
幹事 細田一也(CKD)
委員 井野雅康(SMC)
〃 河野喜之(甲南電機)
〃 今野 英俊(コガネイ)

油圧ポケットブック編集委員会
開催日 12月20日(金)
出席者
委員長 北川能(東工大名誉教授)
主査 渋谷文昭(東京計器)
委員 加藤弘毅(KYB)
〃 満嶋弘二(KYB)
〃 山本裕(ボッシュ・レックスロス)
〃 渡部文雄(日本シリンダ共同事業)
〃 高野一治(油研工業)

技術委員会 水圧部会
日時 12月23日(月)
出席者
部会長 宮川新平(JFPA)
委員 大林義博(KYB)
委員 井口 務(廣瀬バルブ工業)
委員 田邊康弘(廣瀬バルブ工業)
委員 松村悠太(阪上製作所)
委員 内田 晃(日本アキュムレータ)
委員 細井耕平(堀内機械)
委員 織井貞夫(丸山製作所)
委員 船坂 新(川崎重工業)
委員 岩崎宏文(イハラサイエンス)
委員 岩佐光浩(三輪精機)

(広報・PR関連事業)
第127回編集委員会WG
開催日 12月3日(火)
出席者
主査 宮 能治(KYB)
副委員長 水野純一(CKD)
委員 佐藤俊明(SMC)
〃 豊田敏久(川崎重工業)
〃 中垣智英(甲南電機)
〃 東川智信(TAIYO)
〃 松島嘉則(阪上製作所)
〃 諸橋 博(東京計器)
〃 浦井隆宏(ボッシュ・レックスロス)

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<12月>
3日(火)
・広報・PR事業 編集委員会WG
4日(水)
・ISO(委)油空圧シール分科会
6日(金)
・ISO(委)油空圧シリンダ分科会
・技術(委)空気圧部会第566回特許分科会
10日(火)
・標準化(委)JIS原案作成本委員会
12日(木)
・標準化(委)油空圧継手・ホース分科会
16日(月)
・国際講演会及び国際委員会
20日(金)
・第31回政策委員会
20日(金)
・技術(委)油圧ポケットブック編集委員会
23日(月)
・技術(委)水圧部会
28日(金)
・仕事納め

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
